



連合愛知安全衛生センターだより

愛知県労働者安全衛生センター 〒456-0002 名古屋市熱田区金山町1丁目4-18 ワークライフプラザれある3F
TEL(052) 684-0003 FAX(052) 684-0303 連合愛知ホームページからも閲覧できます <http://www.rengo-aichi.or.jp>

7月1日～7日は全国安全週間

安全衛生センターでは、本年の「全国安全週間」にあわせ、昨年愛知県が全国ワースト1となった、「熱中症死傷病の根絶」および「新型コロナウイルス感染による労働災害」を減少させるための周知・啓発活動を行っています。

その取り組みの一つとして、「2021 労災防止キャンペーン啓発チラシ」を構成組織へお送りしました。啓発チラシを活用し、職場の安全管理、熱中症予防、新型コロナウイルス感染防止対策等にお役立てください。

本チラシデータはHPからもダウンロードできます。
<https://anzen0003.rengo-aichi.or.jp/news/>



全国安全週間に向けて ～第1回安全衛生担当者研修会を開催～

5月25日に開催した第1回安全衛生担当者研修会は、愛知県への緊急事態宣言が5月7日に発出された事から、Webでの講義配信を行ない各構成組織・加盟組合、安全衛生センター理事を含め64名が聴講しました。



鈴木安全衛生コンサルタント

冒頭、近藤理事長から「7月の全国安全週間に向けた研修会を予定していたが、愛知県への緊急事態宣言発出により、web講義の開催とした事に、ご理解をいただきたい。」とのあいさつの後、「ウイルス感染症事例に学ぶ、安全衛生管理と対策について」と題し、日本労働安全衛生コンサルタント会・鈴木史香労働衛生コンサルタントより、これまでに



WEB聴講者の様子

日本国内で起きた感染症と新型コロナウイルス感染症の違いや、専門的視野から細菌とウイルスの違いについての説明、感染を防ぐための職場での対策について、具体的な事例を交えて講義がありました。

安全衛生センター ホームページをリニューアルしました



安全衛生センター HP

今月の全国安全週間（準備月間）にあわせ、安全衛生センターHP（連合愛知HP内）のリニューアルを行いました。組合員の皆さんが職場での安全・衛生管理に関する活動に活用できる情報の整理を行なうとともに、新たに労働保険事務組合に関するページを設け、万一の備えとして労災保険加入案内を掲載していますのでご確認ください。

ページの構成

- ① 安全衛生センターの紹介
 - ② 活動計画
 - ③ 安全衛生情報コーナー（組合員のみ閲覧可）
 - ④ 新着情報
 - ⑤ 労働保険事務組合加入案内
- 安全衛生情報コーナー（組合員用ページ）
ID:anzen0003 PW:eisei0303



2021年5月度 愛知県の死亡災害発生状況 <6月11日現在速報値>

9人 (0人) 対前年同期13人 (3人) ※ () 内は交通事故による死亡者の内数

6月11日現在、3月22日に起きた墜落・転落による死亡災害を最後に、愛知県においては4月、5月は死亡災害が発生していません。昨年同時期と比べ死亡災害は5人減少、また交通事故による死亡災害は0人であり、昨年の確定死亡災害者数50人を大きく下回る状況で推移しています。

私たちの職場における取り組み事例

第4回

西川 理事（愛知製鋼労働組合 執行委員長）

基幹労連の挨拶 「ご安全に。」

基幹労連は、主に鉄鋼、船重、非鉄、建設産業の労働組合で構成されています。製造現場は、重筋・暑熱・粉塵などの環境で、取り扱うものは高温、重量物であることが多く、大きな災害へのリスクが高いことが特徴です。

我々は、「笑顔で入社、笑顔で帰宅」この何気ない毎日を送るために、自分自身への安全宣言、仲間への思いやり、家族を守る等の想いを込めて「ご安全に。」の挨拶をしています。先輩・後輩や朝昼晩などは問わず、元気よく大きな声で「ご安全に。」と挨拶すると、テンポよく「ご安全に。」と返ってきて気持ちがいいです。

よろしければ皆さんの職場で使われては、いかがでしょうか。



西川 理事

「ご安全に。」

基幹労連の職場では、この挨拶から始まります。

「ご安全に。」は、元々ドイツの鉱山での挨拶「Glückauf」（グリュックアウフ）＝ご無事で」が発祥と言われており、一度鉱山に入ったら日常世間の感覚を断ち切って安全に徹するために、「こんにちは」などの挨拶ではなく「ご無事で」を使うとのことでありました。

こうした習慣は日本の炭鉱にも伝播し、明治時代にはドイツ語のまま使われ始め、大正時代には「ご安全に。」と訳されたとも言われています。そして、炭鉱では家庭での挨拶も「ご安全に。」が使われていました。こうしたルーツをもって「ご安全に。」が定着した職場があるとのことでした。

また、昭和26～27年に鉄鋼会社の方が欧州に留学し、ドイツのジーゲン地方の首都ジーゲンにあるロールメーカーで実習中に、鑄鉄用鉄鉱石の鉱山に入り、坑内で3人の坑夫に会いました。「GutenMorgen」（おはよう）と挨拶しましたが返事がなく、再度の挨拶にも応答がありませんでした。大声で「Morgen」と怒鳴りましたが振り向きもしませんでした。傍らにいたスタイガー（作業長級の意）から「Glückauf」と言うようにとの忠告に、早速「Glückauf」と呼びかけますと「Glückauf」と振り向き、二人目も同様であり、三人目の坑夫も既に予知していたかの如く先方から挨拶が返ってきたといいます。さらにジーゲンでは家庭でも挨拶はすべて「Glückauf」であることを知り感銘を受け、帰国後、日本でも炭鉱では家庭の挨拶は「ご安全に。」であること聞き感嘆されました。

職場に戻り、安全の啓蒙として「ご安全に。」の挨拶を提案し、炭鉱の経験を持つ社員に相談したところ、戦時中に炭鉱で「ご安全に。」の挨拶を交わしていたということで、その社員を中心として職場からの盛り上がりによる「ご安全に。」の挨拶が始まりました。

その後、製造業や建設業を中心に日本全土に拡大され今日に至っています。《基幹労連調べ》

※諸説あると思いますが、基幹労連では、以上の内容をルーツとして伝承しています。

シリーズ 職場における新型コロナ感染防止対応と対策 ⑦

感染症の危機緊急時におけるリスクコミュニケーションの6つの原則（米国CDC CDC:米国疾病予防管理センター）

- **Be First(速やかに共有する)** 情報を伝えるだけでなく、「誰が」伝えるかが重要である
- **Be Right(正しい情報を)** 「分かっていること」と「分かっていないこと」の両方を伝える
- **Be Credible(信頼を得る)** 「科学的に根拠のある情報」が受け手の信頼を高める
- **Express Empathy(気持ちに寄り添う)** 受け手の視点に立って情報を伝える
- **Promote Action(行動を支える)** 一人ひとりの行動が感染予防につながることを強調する
- **Show Respect(相手を尊重する)** 相手の立場や権利を思いやる伝え方を心がける

日本においては、感染症のアウトブレイクに関する報道や情報発信について、方法や対応についての見解や指針が示されている一方で、その内容や目的、効果や影響、罹患者への対応、回復（復興）に向けた取り組み、安全の確保、尊厳の尊重、人権とプライバシーの保護など、包括的に定めたものについての議論が十分なされていません。

今回は5月に開催した安全衛生担当者研修会の講義資料より、感染症の危機緊急時におけるリスクコミュニケーションの6つの原則について紹介します。

詳細はこちら

